



この一冊にありがとう



朝の空気の冷たさは、季節が秋から冬へと移り変わり始めているを感じさせます。日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。2学期も後半に入ります。今年は行事が復活し、様々な経験を通して子ども達が成長してきています。今は、音楽会に向けての練習を頑張っています。11月5日の学校公開日では、その頑張りを保護者の皆様に見ていただきます。3年ぶりの音楽会の公開は、コロナ禍において多くのご不便をおかけしますが、演奏者と観客が一つになる音楽会となりますよう、ご協力の程よろしくお願いたします。

さて、毎年、文化の日前後に読書週間が設定されています。今年もその時期になりました。穏やかな天候のもと、読書の秋を満喫したいものです。そもそも読書週間は、終戦間もない1947年、まだ戦火の傷跡が至るところに残っている中で、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、始まりました。今年の読書週間の標語は、「この一冊にありがとう」です。この標語を考えた平野耕平さんは、「読書で心が震える体験は、何物にも代え難い奇跡のようなものだと思います。自分の未来にはそんな奇跡がまだまだたくさん待っているという自信があります。本に関わっているすべての人に感謝を伝えたいです。」と語り、この標語に思いを込めました。とても心に響く標語だと感じました。大東東小学校の子ども達も「ありがとう」と思えるような一冊に出会ってほしいと願います。

本校では、今年も11月を読書月間として以下のような様々な取り組みをします。

- ・各学年の目標冊数の設定
(1年→10冊 2年→12冊 3年→300ページ 4年→400ページ 5年→500ページ 6年→600ページ)
- ・おすすめの本の紹介 (児童も先生も紹介文を書き、校内に掲示します)
- ・図書委員会によるイベント (読書メーター、オンライン読み聞かせ、おすすめ本POPの掲示)

本が大好きな大東東小学校の子ども達です。4月から取り組んでいる読書マラソンも、完走した人のカードが毎日校長室に届きます。読書には、人の気持ちが理解できるようになったり、集中力が養われたり、言語能力が培われたりするなどの様々な効果が見られます。この時期に、様々なジャンルの本を手に取り、新たな世界を切り開き、本をより一層好きになってほしいと願います。ご家庭でもぜひ読書の秋を楽しんでいただけたらと思います。



11月4日は、開校記念日です！

今年で、開校149年を迎えます。これからも歴史と伝統がある大東東小学校への愛校心を育てていきます！
※来年度は、150周年となります。先日、公募しました150周年実行委員会には、多くの方に立候補いただきました。ありがとうございます。2名の地域協力者と21名の保護者と教職員で150周年記念行事の実行委員会を進めてまいります。よろしくお願いたします！

11月1日は、彩の国教育の日！

埼玉県では、教育に対する関心と理解を一層深める機会として、毎年11月1日を「彩の国教育の日」、11月1日から7日までを「彩の国教育週間」としています。本校でも地域・家庭と連携しながらよりよい教育の充実に努めてまいります。

